T-fal

取扱説明書

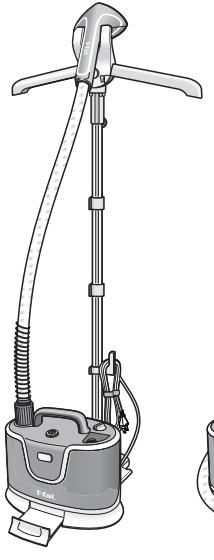
ティファール ガーメントスチーマー

インスタントスチーム

製品番号 IS3320/IS3360

目次

安全上のご注意 2
各部の名前とはたらき 8
組み立て方 10
ブラシの着脱方法 13
使用できる衣類について 13
使い方 14
使い終わったら 19
お手入れ 20
保管方法 20
故障かなと思ったら 23
仕様 25



IS3360

IS3320

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-14-13 高輪ミューズビル
修理センター：〒144-0042 東京都大田区羽田旭町 11-1
羽田クロノゲート 7 階 YMM 内

お客様相談センター
ナビダイヤル 0570-077772
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文センター
修理センター
ナビダイヤル 0570-086072
受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、 人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。

	発火注意		強制または指示		分解禁止
	禁止行為		感電注意		接触禁止
	電源プラグをコンセントから抜く				

⚠ 警告

電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する
間違った電圧への接続は、製品に損害を与える可能性があり、保証は無効となります。

濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない
感電の恐れがあります。

使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する
ショートや発火する恐れがあります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり、異常作動してけがをすることがあります。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

コンセントについて

- **単独でコンセントを使用する**
- **2 口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する**
- **延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する**
  コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している（子供を含む）、および経験または知識を持たない人物による使用をしない
やけど・感電・けがをするおそれがあります。

電源プラグをコンセントに差し込んでいるときは、そばを離れない。とくに小さなお子様がいるときは注意する
やけどやけがの原因になります。

子供が製品で遊ばないよう注意する
やけどやけがの原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

⚠ 注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。

スチームホースとスチームヘッドは水タンクより上の位置で使用する

高温部（スチームヘッドのかけ面など）には手を触れない
やけどのおそれがあります。

製品を水につけたり、水をかけたりしない

ブラシを取り付ける / 取りはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、製品が十分に冷めてからおこなう
やけどの原因になります。

給排水時やお手入れ時は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

高温部に電源コードが触れないようにする
使い終わったあとは、電源プラグをコンセントから抜き、保管する前に完全に冷ましてください。また、コードはゆるく巻いて保管してください。

製品や電源コードの近くに熱器具やとがったものを近づけない
思わぬ事故の原因になります。

電源コードを束ねたまま使用しない。
感電・発火の原因になります。

安全上のご注意（続き）

本製品の電源プラグを接続する前に、スチームホースを軽く引っぱり、水タンクにスチームホースが確実に接続されていることを確認する
使用中にスチームホースがはずれると、熱湯や熱い蒸気が噴き出すことがあります。

⚠ マークがある付近は、使用中に非常に熱くなるので、十分に冷めるまで触れない
やけどの原因になります。

使用中は、熱湯や湯気に触れないように注意する
やけどの原因になります。

スチームヘッドを横向きや後ろ向きに倒して使用しない
熱湯がたれるおそれがあります。

スチームホースで製品をぶら下げない
故障の原因になります。

当社指定以外の部品を取り付けて使用しない
火災や感電やけどの原因になります。

電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、電源をオフにする

水タンクの中身を捨てるときはやけどに注意する
水タンクやスチームホースに熱湯が残っているときがあります。

スチームホースを切って短くしたり、つないで伸ばしたりしない
やけどや思わぬ事故の原因になります。

水タンクやスチームホースに異物を入れない
故障、火災の原因になります。

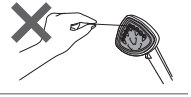
付属のグローブは本製品以外に使用しない
他の目的に使用した場合は、製造者は一切の責任･保証を負いません。

本製品には、回収･リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのはおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任･保証を負いません。
※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。

お願い

スチームヘッド内部にピンや針金を入れないでください。
故障の原因になります。



コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・麻などには使用しないでください。
衣類を傷める原因になります。

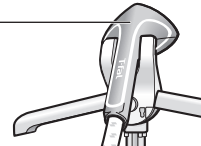
高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

特にご注意　ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど

本製品は必ず屋内で使用してください。

各部の名前とはたらき

IS3360 モデル



スチームヘッド
スチームを出します。

ハンガー
スチームをかけるときに衣類をかけることができます。

スチームホース
スチームをスチームヘッドに送ります。

支柱

ハンドル

コードかけ
保管するときにコードをかけておくことができます。

スチームホース取り付けコネクタ

電源ボタン

電源コード

スチーム量調節ボタン
スチームの量を2段階で調節します。

電源プラグ

カルキ防止口キャップ

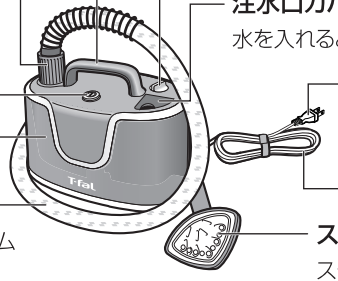
ベース

脚

注水口カバー
水を入れるときに開けます。

水タンク
1リットルの水を入れることができます。

IS3320 モデル



ハンドル

カルキ防止口キャップ

スチームホース取り付けコネクタ

注水口カバー
水を入れるときに開けます。

電源ボタン

電源プラグ

水タンク

電源コード

スチームホース
スチームをスチームヘッドに送ります。

スチームヘッド
スチームを出します。

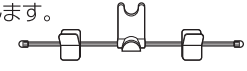
付属品

グローブ
スチームをかけるときに着用します。

ブラシ
スチームヘッドに取り付けて使用します。厚手の生地のシワを伸ばしたいときに使用します。

IS3360 のみ

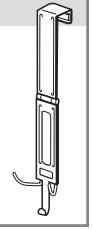
ズボンクリップ
スボンにスチームをかけたいときに使用します。



糸くずとりパッド
糸くずや髪の毛、ペットの毛などを取ることができます。

IS3320 のみ

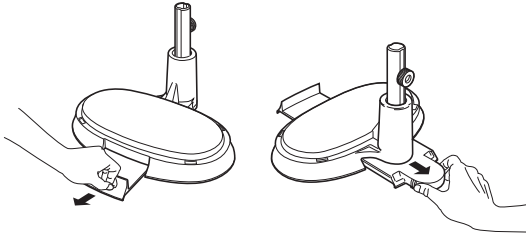
ドアフック
ドアにかけて使用します。



組み立て方

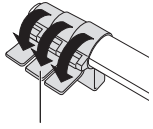
支柱の組み立て（IS3360 モデルのみ）

1 ベースから2本の脚を引き出します。

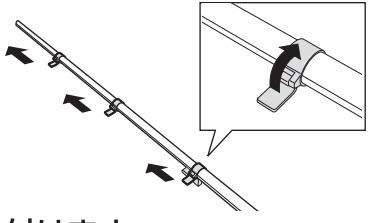


2 支柱を伸ばします。

① ロックを 3 つとも開きます。

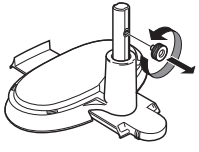


② 支柱を最大に伸ばし、ロックを閉じます。

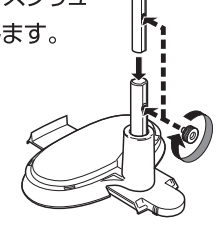


3 ベースに支柱を取り付けます。

① スクリューを反時計回りに回してはずします。

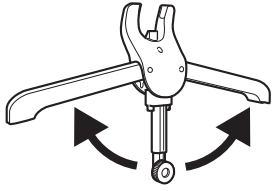


② 支柱をベースに差し込み、スクリューで固定します。

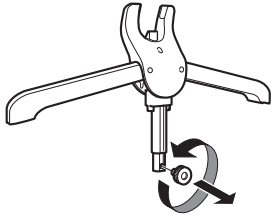


4 ハンガーを支柱にセットします。

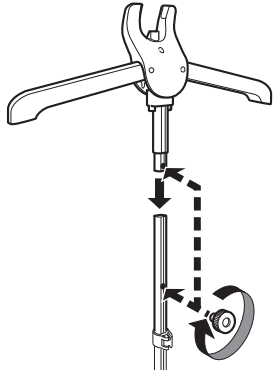
① ハンガーの羽根を開きます。



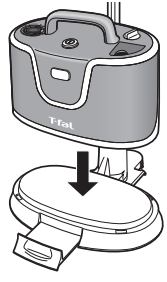
② スクリューを反時計回りに回してスクリューを取りはずします。



③ ハンガーを支柱に差し込み、スクリューで固定します。



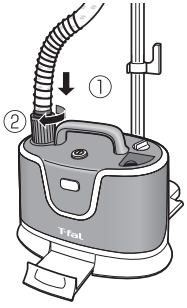
5 水タンクを図の向きでベースの上に置きます。



組み立て方（続き）

スチームホースの取り付け

1 スチームホースを水タンクに取り付けます。



① スチームホースをスチームホース接続口に合わせます。

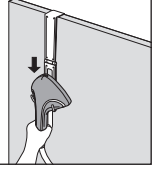
② スチームホース取り付けコネクタを時計回りに回して固定します。必ず、カチッと音がするまで回して固定してください。

軽くスチームホースを引っぱってもはずれないことを確認してください。

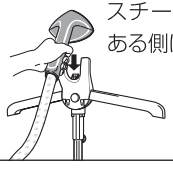
2 スチームヘッドをハンガーの先端またはドアフックにセットします。

初めて使用するときは、スチームヘッドの保護ビニールを必ずはがしてください。

IS3320 モデルの場合



IS3360 モデルの場合



スチームヘッドは水タンクがある側に取り付けてください。

注意

- ドアが加熱、変形、変色、結露する可能性がありますので、スチームが出ている状態のスチームヘッドをドアフックに長時間放置しないでください。
- 安全のために、高さが 2 メートル 5 センチより高いドアにはドアフックを使用しないでください。

ブラシの着脱方法

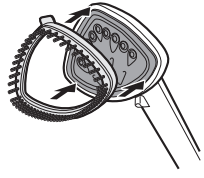
注意

- ブラシは、スチームヘッドが熱い状態で取り付け / 取りはずしをしないでください。やけどの原因になります。
- ブラシの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1 時間以上経過してからおこなってください。

ブラシの取り付け方法

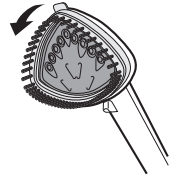
ブラシをスチームヘッドに合わせ、カチッと音がするまで、ブラシを軽く押します。

取り付けは、加熱する前におこなってください。



ブラシの取り外し方法

ブラシの取りはずしタブを引っぱって取りはずします。



使用できる衣類について

必ず衣類に表示されている絵表示に従ってください。また、「スチーム禁止」などの表示がある衣類には使用できません。
衣類に絵表示がない場合は、下の表を目安にしてください。

革・合成（人口）皮革	×
麻（100%）	×
麻（混紡）・綿	○
羊毛	△
絹	△
合成繊維	○
ベルベット	△

○ スチームヘッドを衣類に当てて使用できます。
△ スチームヘッドを衣類からはなして、スチームのみで使用できます。
× 使用できません。

使い方

注意

- 製品は平らで安定した場所に置いてください。
- 毛足の長いじゅうたんやカーペットの上に置いて使用しないでください。
- 蒸気が当ってはいけないものの近くで使用しない（熱や水分に弱いものの近くなど）。また、熱や水に弱い床などの上で使用しないでください。

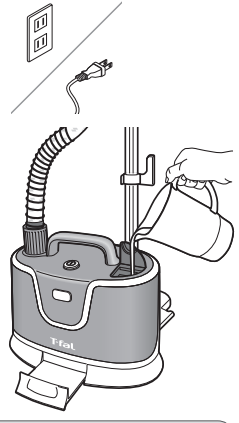
1 水タンクに水を入れます。

① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。

② 注水口カバーを開け、水タンクに水を入れます。

※ 水タンク容量は 1 リットルです。入れすぎてこぼさないようご注意ください。

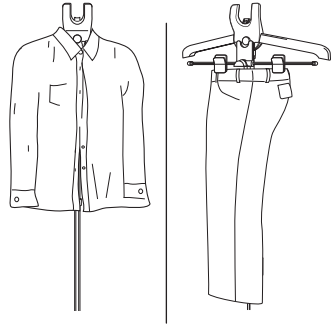
③ 注水口カバーをしっかり閉めます。



注意

- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されています。
- 衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸／濾過された水、ミネラルウォーター等の水はご使用にならないでください。水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがあります。

2 ハンガーに衣類をかけます。

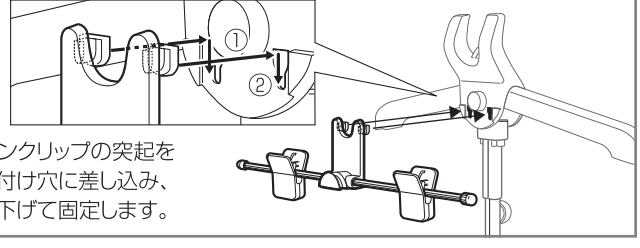


注意

加熱、変形、変色、衣類への色うつりなどの可能性がありますので、熱に弱い素材のハンガーは使用しないでください。

ズボンにスチームをかける場合

付属のズボンクリップをハンガーに取り付けます。（IS3360 モデルのみ）



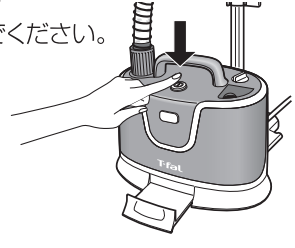
① ズボンクリップの突起を取り付け穴に差し込み、
② 押し下げて固定します。

3 100V のコンセントに電源プラグを差し込みます。

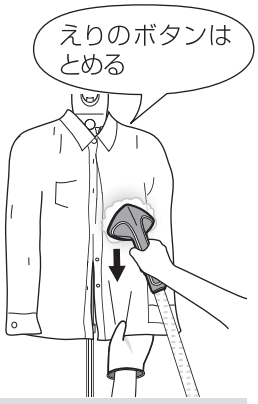
電源コードを束ねたまま使用しないでください。

4 電源ボタンを押して電源をオンにします。

スチームが出るまで 60 秒ほど待ちます。



5 スチームが出始めたら、スチームヘッドを持ち、衣類にスチームをかけます。

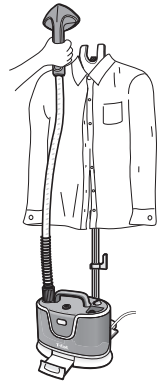


片手で衣類の裾を引っぱりながら、スチームヘッドを衣類の上から下の方へ当て、シワを伸ばします。

- 連続使用可能時間は 30 分です。30 分以上連続で使用しないでください。
- スチームが出ているときは、なるべくスチームヘッドを下に向けないでください。
- 水は使用中でも継ぎ足すことができます。
- やけど防止のためスチームヘッドを持っていない方の手に付属のグローブを着用してください。
- 使用中は、スチームヘッドを床や机に置いたりせず、ハンガーの上部かドアフックに掛けてください。
- 使用中、支柱に水滴がつくことがありますが、これは凝結によるもので、異常ではありません。
- 13 ページを参考に、素材によってはスチームヘッドを衣類から離してスチームのみで使用してください。

注意
- 衣類を身につけたまま、スチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。

使用中にスチームホースからゴボゴボと音がするときは



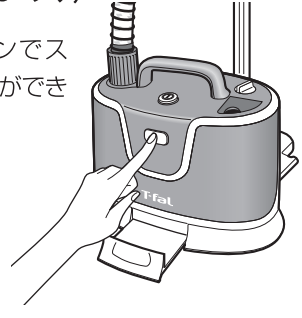
- ゴボゴボという音は気体が液体に変わるときの音で、異常ではありません。
- ゴボゴボと音が鳴る場合や、スチームが出ない場合、スチームヘッドの穴から水がしたたる場合は、スチームヘッドを上げてホースをまっすぐ伸ばし、凝結した水を水タンクに戻してください。
- 床面の近くでスチームをかけるときは、凝結しないようにたびたびホースを垂直にしてください。ホースが折れ曲がっていると、水が凝結し、ゴボゴボという音が出ます。

ヒント
- 生地によっては裏からスチームを当てるとシワが伸びやすいものもあります。
- 厚めの生地は長めにスチームを当ててください。

■ スチーム量の調節（IS3360 のみ）

本体前面のスチーム量調節ボタンでスチームの量を 2 段階で調節することができます。

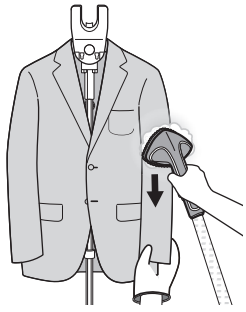
	ランプの色	スチームの量
	オレンジ	少ない
	緑	多い



使い方（続き）

■ 付属のブラシを使うとき

繊維の方向にそってやさしくブラシをかけます。

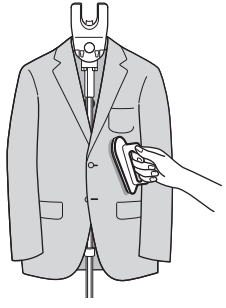


注意

- ブラシは、スチームヘッドが熱い状態で取り付けたり、取りはずしたりしないでください。やけどの原因になります。
- ブラシの取り付け / 取りはずしは、電源を切った後、1 時間以上経過してからおこなってください。

■ 糸くずとりパッドを使うとき

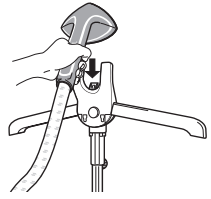
繊維の方向にそってやさしくブラシをかけます。

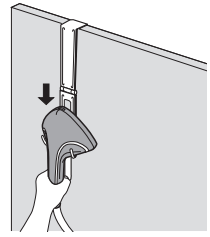


- 糸くずとりパッドは、スチームヘッドに装着できません。
- 糸くずとりパッドをきれいにしたいときは、いらない布などに反対方向にブラシすると、きれいになります。
- スチームをする前に糸くずとりパッドを使うと効果的に仕上がります。

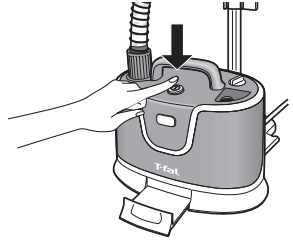
使い終わったら

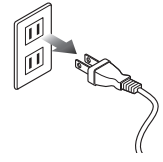
1 スチームヘッドをハンガーの先端、またはドアフックにセットします。





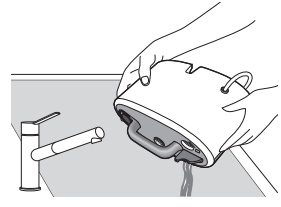
2 電源をオフにして、コンセントから電源プラグを抜きます。





3 1 時間後、本体が冷めたら、水タンクの水を捨てます。

使用後は毎回水を捨ててください。



注意 使用後しばらくはスチームヘッドの蒸気口は熱くなっています。直接手で触れないようご注意ください。

お手入れ

注意
- 水タンクやスチームヘッドを水の中に入れて洗わないでください。
- スチームヘッドの蒸気口から水を入れないでください。

お願い
- 電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

水タンクのお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

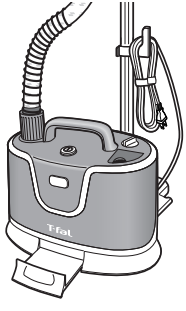
その他の部品

やわらかい布かスポンジのざらざらしていない面で拭いてください。
洗剤や石けんは使わないでください。

保管方法

電源コードは軽く巻き、支柱のフックに掛けておくことができます。(IS3360 のみ)

製品を移動するときは、支柱とハンドルの両方を持ってください。
ハンガー部を持って持ち上げたり、移動させないでください。



水あかの除去

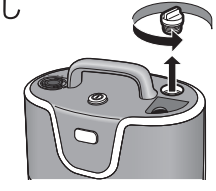
半年に一度あるいは、スチームの出が悪いと感じたら、以下の手順で水あかを除去してください。

1 電源プラグをコンセントから抜きます。

使い終わってすぐの場合は、冷めるまで1時間待ちます。

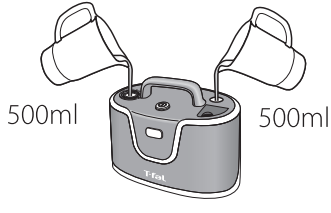
2 水タンクからスチームホースを取りはずします。

3 カルキ防止口キャップを反時計回りに回してはずします。



4 水タンクを水で洗います。

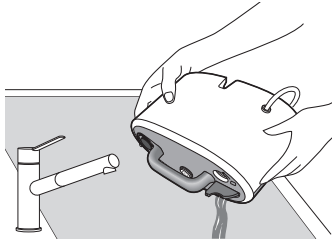
① カルキ防止口とスチームホース接続口からそれぞれ500ml の水を注ぎます。



お手入れ（続き）

② 本体を軽く振ります。

③ 水を捨てます。



5 お酢を入れて水あかを除去します。

① 2 ～ 5 倍に薄めたお酢を 1 リットル用意します。

② ①をカルキ防止口とスチームホース接続口から
それぞれ 500ml ずつ注ぎます。

③ そのまま一晩寝かせておきます。

④ 本体を軽く振ります。

⑤ カルキ防止口から水を
排出します。

⑥ カルキ防止口キャップ
を閉めます。

6 4 の手順で水タンクを洗います。

故障かなと思ったら

状況 スチームが出ない

考えられる原因	対処方法
電源がオンになっていない	電源ボタンを押して電源をオンにしてください。 電源を入れてからスチームが出てくるまで約 60 秒かかります。
スチームホースがふさがっている	スチームホースがねじれていたり、折れ曲がっていないか確認してください。
スチームヘッドを床に置いている	スチームヘッドは水タンクより上の位置で使用してください。
水タンクに水が入っていない	電源を切り、水タンクに水を入れてください。

状況 スチームの量が少ない

考えられる原因	対処方法
水あかがたまっている	21 ページを参考に水あかを除去してください。
スチームホースがふさがっている	スチームホースがねじれていたり、折れ曲がっていないか確認してください。

故障かなと思ったら（続き）

状況　スチームヘッドから湯滴がもれる

考えられる原因	対処方法
スチームホースの中で蒸気が凝結している	スチームヘッドを地面に対して水平にして使用しないでください。 スチームホースを垂直に伸ばし、凝結した水を水タンクに戻してください。

状況　水が加熱されるまで時間がかかる / 白い粉のようなものが出る

考えられる原因	対処方法
水あかがたまっている	21 ページを参考に水あかを除去してください。

状況　スチームホースからゴボゴボと音がする または、水が水タンクからあふれる

考えられる原因	対処方法
スチームヘッドを床に近い位置で使っているので、スチームホースの中で水が凝結している	使用中はなるべくスチームホースを上に伸ばしてください。 また、なるべく凝結しないよう、支柱は最大まで伸ばしてください（IS3360 のみ）。

仕様

製品名	インスタントスチーム IS3320 / IS3360		
電源	100V 50Hz-60Hz	定格消費電力	1300W
連続使用可能時間	30 分	温度ヒューズ	216℃
サイズ（幅×奥行き×高さ）	IS3320 （本体のみ）：約 29.6cm × 約 15.5cm × 約 20.5cm IS3360 （本体のみ）：約 29.6 cm × 約 15.5cm × 約 20.5cm （組み立て時）：約 46.7 cm × 約 23.6cm × 約 163.5cm		
重量	IS3320 （本体のみ）：約 1.7kg　（本体 + ホース）：約 2.6kg IS3360 （本体のみ）：約 1.8kg　（組み立て時）：約 5.1kg		
コード長さ	約 3m	タンク注水量	1L

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Made in China

愛情点検　●長年ご使用のガーメントスチーマーの点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源プラグ·コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ·コードが異常に熱くなる。
- スチームヘッドや取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。● その他の異常·故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検·修理をご相談ください。